

猛暑に負けじ 趣味の道に励む

【折紙の会】

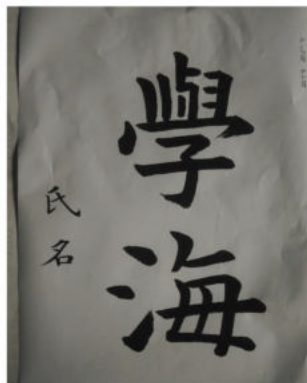
講師は梶田みどり。
7月24日と8月8日に月例会を開催した。オリンピック鶴や釣鐘草の色紙、コースターを仕上げた。9月は



30日にひよどり保養所で。連絡先は道満俊徳（583-3228）

【書道の会】

講師は藤澤淑子。8月26日に例会を開いた。お手本は「學海」（海を学ぶ）。9月の例会は30日、ひよどりで。



課題は「村巷」。連絡先は土井昭政（583-87977）



【写真の会】

講師は木村成男。8月16日に研修会を開き、7月に動物王国で実施した撮影会の反省会をした。（写真は発表作品）。9月20日は元町近くの相楽園で撮影会を行う。連絡先は木村成男（581-1701）。

【絵手紙の会】

講師は野見喜昭。7月は四天王寺の骨董市の写真を見てハガキ絵を描いた。骨董市散策の様子は奥田氏の感想文を参照。9月は12日にKSC G3で例会を開催。連絡先は芦田義和（583-1196）

●来年5月に合同作品展

北区の趣味の会（折り紙・書道・写真・絵手紙）は来春、合同作品展を開催します。期間は2020年5月20日から24日まで、本館2Fギャラリーで。

四天王寺骨董市を散策

6月22日午前9時30分、JR三ノ宮駅に集まった絵手紙グループ9名は、JR大阪駅から大阪メトロに乗り換え“四天王寺前夕陽ヶ丘駅”へ。参道を10分余り歩き四天王寺境内に入る。境内には四天王寺式伽藍のほか、聖徳太子の御霊を崇る聖霊院



（太子殿）がある。

毎月21日の大師会（弘法大師の月命日）と22日の太子会（聖徳太子の月命日）は四天王寺の縁日で、露店も多く並び、骨董市を散策する気分が味わえる。境内のいたるところに、骨董品、古着、手作りのアクセサリから陶器、ガラスの食器、置物、用途不明の石や金属も並ぶ露店がずらり。焼きそば、おでんの屋台まである（写真）。骨董市の雰囲気を楽しんだところでランチタイム。

ちょっぴり名の知れた、そば処“四天王寺はやうち”。蕎麦の実からこだわり、挽きたて、打ち立て延ばしにまでこだわった逸品が味わえる。

腹ごしらえが出来たところで、真田幸村、徳川家康が本陣を構えたという“茶臼山”を通過して天王寺公園に。大阪市立美術館で“日展”を鑑賞する。絵画（洋画・日本画）、塑像、書など、日本を代表する作品を目の当たりにして、たくさんの作品と出会い、触れあうことが必要だと感じた。暑い一日。歩き回って疲れ果て、戻ってきた三宮駅前の居酒屋で“お疲れさま”のビール。最高でした。四天王寺の縁日にはもう一度ゆっくり一日かけて訪ねてみよう。 絵手紙・奥田忠生

展示まであと9か月余。描き溜めたり、作成した傑作・力作を展示しましょう。問い合わせは道満俊徳（583-3228）